

予算決算委員会総務文教分科会会議記録
(補正予算審査)

1. 日 時	令和7年11月28日(金) 9時00分開議 令和7年11月28日(金) 16時15分散会
2. 場 所	議員協議会室
3. 出席議員	原田豊彦座長、安井博幸副座長、本多紀元委員、前田えり子委員、野々村康委員、向井千尋委員、上田英樹議長
4. 欠席議員	なし
5. 会議に付した事件	議案第91号 令和7年度丹波篠山市一般会計補正予算(第8号)
6. 議事の経過	<p>原田座長 挨拶</p> <p>原田座長 開議宣告</p> <p>9:00 開議</p> <p>■議会事務局</p> <p>日程第1 議案第91号 令和7年度丹波篠山市一般会計補正予算(第8号)</p> <p>【主な説明】</p> <p>議会事務局 説明</p> <p>【主な質疑】</p> <p>安井副座長 委員長手当3か月分の増額とのですが、委員会で視察や現地調査は予定されていないとのことか。会議のためと理解すればよいか。</p> <p>議会事務局 会議を予定しておりますので、委員長手当の増額をしております。</p> <p>議会事務局 当初予算で、地域医療調査特別委員会で謝金を計上しておりますので、それを使用し研修等を行うことはできます。</p> <p>安井副座長 謝金はどれくらいの残高がありますか。</p> <p>議会事務局 謝金については、10万円が残っております。市内の病院の医師に講師で来ていただいたときは、謝金は発生しておりません。</p> <p>■行政経営部</p> <p>日程第1 議案第91号 令和7年度丹波篠山市一般会計補正予算(第8号)</p> <p>【主な説明】</p> <p>行政経営部 説明</p>

【主な質疑】

- 野々村委員 35 ページ、公債費の利子について利率の確定ということで説明頂きましたが、当初見込んでいた利率と確定した利率の説明を求めます。
- 行政経営部 当初見込んでおりました利率は1.3%になります。確定は借入期間とかにもよって利率は変わるが、おおむね1.5%程度です。
- 野々村委員 理解しました。
- 上田議長 36 ページの空家等活用基金費の2,748万4千円のことを聞きたいんですけど、昨日本会議場でも質問あったんですけど、これ賃貸から今回売却になった、少しその詳しい経緯、申出があったのか、その詳しい経緯を教えてください。
- 行政経営部 空き家の関係ですが、基本的に所管が創造都市課になっていまして、まず歳入で受けたものを今回ここで、基金に関して積ませていただきます。その背景につきましては、この後の創造都市課が委員会の中で説明があるものと思います。
- 上田議長 基金の活用は、そちらでよろしいですか。
- 行政経営部 政策的な基金は、そもそも政策的なものです。特定目的を持った基金になりますから、基金の運用、活用につきましても、当然、創造都市課との協議の上で決定していきます。
- 上田議長 そこでちょっと、財政課等にもお願いしたいが、基金というのは今回積立金というのは、魚屋町の物件というふうに確認しています。相当大事にされた財産を分けていただいたという経緯がございます。
- これは徐々に職員さんが変わっていく中で、当時のことが分からないというような職員の方もおられると思います。
- だからこの基金の目的は有効活用を図るんですけど、基金については、改修とか除去に対する基金の目的となっております。だからそういう大事な財産を分けていただいたので、有効活用してください。
- そのものは有効活用できました。それに生まれた利益については、やはり有効活用の方向に、こういう基金というのは大事な財産を上げていただいた中で、財源を生み出したものは、やはり有効活用等に、資する目的で、私は使っていただいたらうれしいなというふうに思っておりますので、意見として言わせていただきます。
- 行政経営部 その思いをしっかりと受け止めていきたいと思っております。
- 安井副座長 14 ページに、庁舎管理費で電気代とかガス代が国からの補助金がなくなったからということで増額補正になつとるわけですけども、今後のことも含めてやはり残業時間を削減とかによって使用を減らすとい

行政経営部	う方向にやっぱり持って行っていただきたいと思いますので、その辺についてちょっとお考えを聞かせればうれしいと思います。
行政経営部	先ほど言われましたとおり、残業時間等は減らしていければと思っております。冷房の延長をさせていただいたのが金曜日と水曜日を除く月、火、木曜日のみとなっております。今回、選挙等もありましたので、稼働時間が多くなったため使用料も大きくなったのだと思っております。
行政経営部	残業は当然少なくさせていくのが本来ですが、一方で今回の働き方改革の中で、庁内でも、開庁時間についての議論をしています。そういった仕組みを加えることで残業時間というのはおのずと幾らか減っていくほうに行くと思いますので、その中でも検討していく課題かなと思います。
安井副座長	今、開庁時間と言われてましたけども、近隣でいうと三田市とか南丹市が開庁時間を削減っていうか短くされましたね。今後、近隣都市の状況を見て、やっぱりそれを我が市にも取り入れることにして、例えば窓口に人がいない、いなければ自分の仕事に専念できるというふうに、考えてよろしいわけでしょうか。
行政経営部	この開庁の時間どうするかというについてはまた総務課を中心に話を整理させてもらおうと思います。その中での丹波篠山市のスタイルというのがまた提案されることになるといふふうに思います。
安井副座長	了解しました。
野々村委員	14ページ、管財契約課にお尋ねいたします。工事請負費の156万2000円の減なんですけど、現計の予算は、補正されてなかったら当初予算は378万5千円だったんですけど、現計は378万5千円で正しいでしょうか。
行政経営部	設置工事については、306万8千円が契約額ということで確定しております。
野々村委員	申し上げているのは、当初予算の管財管理費の中の工事請負費に当初予算378万5000円を計上されているんですけどそのあと、補正等で、これは膨らんでますかっていうことをお聞きしとるんですけど現計予算としては幾らお持ちなんですか。
行政経営部	552万が現計予算になってます。
野々村委員	現行予算が552万円でしたら当初予算が378万5000円ですので、170万ほど補正で金額を増額して、今が、今回160万ほど減額しているということですか。その辺のいきさつを説明していただけますか。

具体的のは、令和7年度の当初予算の説明資料で工事請負費が378万5千円と記載されております。それに対して、工事請負費156万2千円ほど、今回減額されるということになると、見積額の半額だっちょっと多いんですけども、相当40%ほどが減額当初予算に対して40%減額っていうことは非常に当初の見積りに誤りがあったのではないかというようなことが懸念されます。今資料として、この間の補正予算の資料今持ち合わせておりませんので、その間に補正予算を組まれたのならば、補正予算で増額しながら、また減額しているその理由は何か説明を求めているということです。

行政経営部

先ほど言われた、補正予算は行っておりません、今回の減額が初めてです。

工事請負費の中に庁舎管理費と財産管理費という事業の二つの工事費が合わさっております。

野々村委員

私の当初予算説明資料の見方が悪かったとしたら、御説明頂いたように、福住の観光駐車場舗装工事と、酒造記念館の工事を合わせたものが378万5000円とそこに記載されているんですが、課長が申されたことで、工事請負費の全体が517万と説明していただいたので、517万が正しいということによろしいんですか。

行政経営部

先ほど言われましたのが財産管理費378万5000円になります。それと別に、庁舎管理費552万円というのが、もう1事業あり当初予算にその合算が、工事請負費の合計額ということになります。

野々村委員

そうすると今係長が申された金額も違って工事請負費は、課長の説明があった財産管理費の工事請負費378万5000円と、もう一つの庁舎管理費の552万円を加えた金額ということで考えたらよろしいんでしょうか。

行政経営部

そのとおりです。

野々村委員

それで主たる合算すると930万ほどの工事請負費全体があって、それに対して156万2000円の残があったということで、これは入札残という考え方でよろしいんでしょうか。発注された工事、具体にはどの工事について入札残が多かったのか。または、当初の予定価格が見積り額より、安価であったのか156万の減額になる主な工事の説明を求めます。

行政経営部

庁舎管理費のほうの電気自動車の充電設備において、入札におきまして、落札率が約84%で落ちておりますので、そこで残が出ております。

野々村委員	そうすると、見積りについては、当初予算を計上されたのと発注された金額についてはおおむね見積りどおりで予算は発注されて、入札の段階で事業者の努力またはそういうような競争によって減額が生じたと理解してよろしいですか。
行政経営部	そのとおりです。
野々村委員	理解しました。
向井委員	12 ページの脱炭素化推進事業、電気自動車導入等が減額なんですけれども、この理由とか、脱炭素化に向けての今の取組の傾向というかはどうなのかなと思います。
行政経営部	脱炭素化の減額ですが、先ほどの電気自動車の充電設備の落札減の分です。

■企画総務部

日程第1 議案第91号 令和7年度丹波篠山市一般会計補正予算（第8号）

【主な説明】

企画総務部 説明

【主な質疑】

向井委員	15 ページの公共交通対策事業のドライバー確保奨励金の 70 万円ですが、7名のドライバーさん確保されたということで、この70万円というのは、新規のドライバーさんに、直接支払われるものなのか、それともそのバス会社とかタクシー会社に対して支払われるものか、どのような方法でどのような効果を生み出そうとしているのかという辺りを説明ください。
企画総務部	まず、対象者支給の対象者については、市内に住所を有する方ということで、ドライバーの方に対して支給することになります。 こちらについては、やはりドライバー確保というふうなことが1番の命題ですので、バス会社、タクシー事業者ともに、やはり、退職者が最近多くございまして、それによって人数も増えてきておるんですけども、やはりこの制度については県下でも、制度を持っているのが丹波篠山市のみということで、当市のほうも令和5年度から制度のほうを創設しておるんですけども、このドライバー確保については非常にバス事業者、タクシー事業者からも、これをもってですね、ドライバー確保ができたというふうな話も聞いております。今後ですね、やはり、人がいなければですね、幾らバス、タクシーの車両があっても動きませんので、やはりこのドライバーの確保についてはですね、今後

	<p>もやっぱりしていくべきということで、この制度についても、そういうところに寄与しているというふうには考えです。</p>
向井委員	<p>今回本当に西部のほうにも、拡大拡充していきますのでぜひその確保プラス継続していただけるようによろしくお願いします。</p>
企画総務部	<p>15 ページの情報システム費なんですけど、使用料及び賃借料が減額となってるんですが、これもシステム標準化にかかるものでしょうか。</p>
企画総務部	<p>システム利用料の減額につきましては、大きくはシステムの標準化の関係と機器のリース料につきましてリース開始時期が後ろに遅れたことによる減額も含んでおります。</p>
野々村委員	<p>11 ページの財産売払い収入の件で、土地の境界が混乱してたということで確定のための測量等行われたんではないかと思いますが測量費用等については、どちらが負担しておるのでしょうか。</p>
企画総務部	<p>測量費用につきましては市のほうで負担をしております。</p>
野々村委員	<p>それは過年度で行ってるのでしょうか。今年度ですね、空き家活用事業の事業費のほうを見たんですが、けど、委託費とか測量費とかないと思われるんですがその不足量については、もう既に6年度にやられたのか7年度でやられたら、予算はどこから支出されたのか説明を求めます。</p>
企画総務部	<p>その分につきましては緊急を要するということもございましたので、予備費にて対応頂きました。</p>
野々村委員	<p>それでは具体的に金額は幾らになりましたか。</p>
企画総務部	<p>今、その金額について今持ち合わせておりませんので、後ほどお答えをさせていただきたいと思います。</p>
野々村委員	<p>この売払いにおきましては、鑑定評価を取られたという御説明だったんですが、鑑定評価には原価法とか取引事例比較法と収益還元法という三つのやり方がございます。この三つのやり方のどれをなされたのかまた三つのやり方を総合的に判断されたのか。</p>
企画総務部	<p>不動産鑑定の方法につきまして、確認し報告させていただきと思います。先ほどの測量業務につきましての金額についてですが、こちら今金額も分かりましたのでお答えさせていただきたいと思います。金額については49万5000円ということになります。</p> <p>今先ほどの、不動産鑑定の件なんですけど、こちらについては、不動産鑑定士のほうに委託をいたしまして、それによって、完了していただいたものなんですけど、その手法について、内容については後ほどお答えさせていただきたいと思います。</p>

野々村委員	土地の確定に関しては測量費だけで終わったということで理解してよろしいのでしょうか。例えば近隣の方に立会いを求める場合に旅費の請求をされたりするケースもあります。
企画総務部	予備費の充用につきましては、測量費だけで完了しているのか。 もう1点はですね、境界のブロックを切断するようなことが生じまして、切断工事費のということで、29万7千円を市のほうから支出しております。
野々村委員	この財源につきましては、これも急を要するということもございましたので流用をもって予算のほうを確保し支出しております。
企画総務部	確認させていただきます。測量費49万5千円は予備費からの充用境界確定のための支障になるブロックの切断工事費29万7千円については、流用予算で行われたということでよろしいでしょうか。
野々村委員	そのとおりでございます。
企画総務部	それでは、この特定土地建物の売払いに関して、市が支出した金額はこの2件ということでよろしいですか。
上田議長	その2件になります。
企画総務部	先ほど、行政経営部のときに、36ページの歳出で、空き家等活用基金費、魚屋町2,748万4千円の質問をさせていただいて、基金の活用をさせていただいて、どのような経過があったのかということをおっしゃっていただいたら、詳細については企画総務部で説明があつて分かりました。その中で今回、賃貸契約から売買ということになったんですけども、ある程度、相手方、既にもう名前が説明の中で出とったんですけども、やはり向こうとしては、賃貸より売買を望まれて、今回スムーズにいったというような内容でよろしいでしょう。
上田議長	今、上田議長おっしゃったとおりでございます。貸付け期間が5年間ということを経て以降については優先買取りの条項を設けておりましたので以降についてはスムーズな形で売却という形になります。
上田議長	それと36ページの内容の空き家等活用基金費、これは行政経営部のほうの担当で、その中で、空き家活用基金の目的については、ある程度、空き家等の有効活用を図るとそれについては、改修とか除去に使えるところがあります。そしたら、この基金を活用するに当たり昨日の本会議でも出とったんですけども、実際にどのように基金を物件に充てるか充てないかということは、空き家というのはきっちりと管理された空き家もあり、また中には、危険を伴う空き家もあります。空き家一つといってもさまざまなものがあるところがあった中

で、基金の活用については、行政経営部だけではなく、企画総務部とも十分協議していきますという返答を頂きました。私が思うのは、空き家等活用基金をするのに、やはり相当な思い入れのある中、きっちりとした有効活用ができる空き家をやはり寄附していただいて、それを有効活用する、そこから生まれる収入がある。やはり除去とかではなく、基金の中で大事な財産を頂いたという認識で、生まれた収入分であります。これは次の空き家の有効活用に使いたいとか、やはりその辺はきっちりと担当者も変わられると思いますけども、やはり一区切りとするんじゃないに、有効活用を頂きたいという、長年住まわれて寄附者の思いから生まれた収入収益については、やはりこれは異動や若い職員がおられる中でもその辺の思いはきっちり引き継いで頂きたい。色分けはできないと思うんですけどある程度それはあると思います。だから当時きっちり住まわれた方々の方のお話を何回も聞きに行って有効活用をさせていただきますという約束をした中で、収益を生まれたものもあります。そしてこの物件だけじゃなしにほかの物件もあると思いますので、そのような気持ちを今後とも持ち続けていたいただきたいということをお願いしたいと思いますがいかがでしょう。

企画総務部

ありがとうございます。今、上田議長のほうからおっしゃってました空き家活用と基金につきましては、空き家等の有効活用を図ることを目的にここは積立てて活用もさせていただいております。過去におきまして今回売却をいたします、この魚屋町や北新町の物件以外にも黒田あるいは市野々のほうでも、このような寄附を受けて、過去には売却等していた例もございます。

その中でやはり今後、丹波篠山市といたしましても、9月2日の全員協議会のほうで、管財契約課のほうから説明がありました寄附受納制度の創設ということで、10月からこのような制度を持ってですね、山林であったり、農地、空き家であっても、寄附を受けるというようなこともしております。上田議長言われるとおり、この基金についても、今残額が2700万ございます。今回売却をしまして2700万を積みますと5400万ということになります。この5400万を今後の空き家活用に十分生かしていただけるように市としても取り組んでいきたいと思っております。

企画総務部

補足ですが、先ほど野々村議員のほうから御質問頂いておりました売買に関するもので、市から支出した金額ということだったんですけ

れども、先ほど藤田次長のほうから説明しました用地測量業務でかかった49万5千円につきまして、それは令和6年度の予備費しております。令和7年度で支出しておりますのが境界ブロックの切断工事が29万7千円です。そのほかですね不動産鑑定業務を依頼しております。これは、令和6年度のほうに、不動産鑑定業務で、21万89百円ちょっと年度は違います。

そうですね、この不動産鑑定業務は令和6年度の当初予算で計上しておるものです。

《後刻説明》

不動産鑑定基準によると、自用の建物及びその敷地の鑑定評価額は、原価法、取引事例比較法及び収益還元法を関連づけて決定するものとされています。しかし、類似の複合不動産の取引事例の収集は困難であることから、取引事例比較法の適用は断念しました。また、周辺には規模の大きな戸建住宅の賃貸市場は見当たらないため収益還元法の適用も不可能と判断しました。従って、原価法のみを適用し対象不動産の鑑定評価額を決定しました。

■社会教育部

日程第1 議案第91号 令和7年度丹波篠山市一般会計補正予算（第8号）

【主な説明】

社会教育部 説明

【主な質疑】

安井副座長 34ページの田園交響ホール管理費ですが、電気代よりもガス代のほうが多いです。かなりの割合で14ページの庁舎管理費なんかを見てるとガス代よりも電気代のほうが増額補正になっています。何で田園ホールはガスのほうが増額補正の金額が多いのかということをお尋ねします。

社会教育部 交響ホールの場合、主に客席・舞台の空調をガスで賄っております。したがってガス代の割合が大きいというものでございます。

野々村委員 34ページの交響ホール管理費の中で、友の会の会員さんが400名の目標とされたところ494名ということで、大幅に15%近く増となっております。特別に増えることは非常にいいことで館の使用が伸びると思うんですが、どのような取組をなされてこういうような成果にたどり着けたのか説明をお願いいたします。

社会教育部 友の会の会員数につきましては、年度によってばらつきがありまし

	<p>てその理由は公演がどういった公演が行われるかによって、特に早くチケット欲しいといったそういう公演、特にJポップとかそういった公演がありましたらやはり友の会の会員数が多くなります。従いまして令和6年度でしたら600名ほどになりましたので、特に通常どおりの友の会の勧誘等をやっております、令和7年の公演に対する数値かなというふうに考えております。</p>
野々村委員	<p>理解いたしました。その公演の内容によって左右されるというのは非常に読みにくいですが、そういうような、ホールにたくさんの方が申し込まれるような、また、イベントの誘致等も今後検討頂ければと思います。</p> <p>続いて、33ページの8目文化施設費について、舗装工事によって破損してそれを復旧ということだと思っておりますが、今年度、来年度も高温であるならば、同じことをしても同じように舗装が壊れる暑さを原因としているならば、そうなると思っておりますが、それに対する対応はどのように御検討されておりますか。</p>
社会教育部	<p>洗い出し舗装が高温で膨張したことによって、破損していますので、一応目地を設けて、少し緩衝帯を設けて、施工したいと思っております。</p>
野々村委員	<p>目地に減らし膨張を緩衝するようなものが施されてなかったもので、今回それを新たに設けることによって同程度の高温になっても、今回の復旧工事に対応できると、そういうように解してよろしいですか。</p>
社会教育部	<p>そのとおりです。</p>
野々村委員	<p>理解いたしました。</p>
安井副座長	<p>33ページの視聴覚ライブラリーのところの映像祭のバスの借上料の市のバスになったから要らなくなったということで減額なんですけど、この森の学校のロケ地めぐりには何名ぐらいの方が参加されたのでしょうか。</p>
社会教育部	<p>定員が20名で、当日急遽欠席の方がいらっしゃったので、合計で19名になりました。</p>
向井副議長	<p>33ページの文化施設管理費のところ、先ほど大書院のバリアフリー化のことを説明をうけましたが具体的に説明頂けますか。</p>
社会教育部	<p>まずですね車椅子につきましては、篠山城大書院のスロープの傾斜がきついことで、これまでスタッフのほうで、介助していましたが、なかなか人員が少ないってこともありましたので、電動車椅子であれば少ない人数で対応できますので、実際に姫路城のほうで導入されております機器を精査しまして、大書院への坂道のデコボコがあっても</p>

十分利用できるということで導入を検討しているというところでございます。

また、音声ガイダンスにつきましては目の見えない方に向けて、篠山城の説明や大書院の入館内容について、日本語と英語の二か国語に対応し、外国人の方にも向けても入館ができるようにしたいというふうに考えております。

向井委員
社会教育部
向井委員

分かりました電動車1台ってことですか。

はい。

大書院に上がるその石畳が、やはり急であったりデコボコしてて、なかなか杖をついている人とか、車椅子乗ってる人が、大変やというふうに私も以前から聞いています。一部黒いマットみたいななんか敷いてあって、それを引いてあると、比較的押しやすいとか、杖がつきやすいとか聞いていますが、そういうのは無理なんでしょうか。今回その車椅子1台ってことは、1人に対応するってことなんですけど、もう少し幅広く、子どもを連れている人、車椅子を押している人、ベビーカーを押してる人が大書院に入りやすくするようにするその工夫とかバリアフリー化があったらいいんじゃないかということ、前から私も会派で調査したりとかしているが、その辺りは今回は御検討いただけないって感じですか。

社会教育部

黒いマットを敷いている場所に、つきましては門の周辺なんですけども、特にこの石畳が大きくて割とよりデコボコしてる場所につきましては、マットを敷いていますが、全面につきましては、実際に検討したんだけどもと引くだけでは改善できないってこともありましたので、今回は電動車椅子ってことで検討しております。今後につきましては、確かに言われるように石畳がデコボコしていますので、大きな改修等の際に、再度そういったことは検討したというふうに思っています。

上田議長

同じ33から34ページの文化施設費の中で、今回ユニバーサルツーリズムの県の補助金を頂いたことは大変うれしいと思います。電動車椅子が51万かなと思うのですが、あとの54万9000円の補助を頂いた、ちょっと根拠を教えてください。

社会教育部

まずですね、基本的に対象としましてはこの車椅子、また音声ガイダンスのスピーカー、さらに謝金、あと、舗装の修繕も含めて、全てバリアフリー関係で、補助金対象になりますが、ただ車椅子の諸経費につきまして一部は1万8000円ほどですね、対象外になりましたので、

それ除いた半額が補助金となっております。

上田議長

電動車椅子のどこに置かれてどのような使用されるのか教えていただけますか。

社会教育部

基本的に大書院のほうに置きまして、下のほうでインターホンをされたらですねスタッフのほうで車椅子持って行って、それで乗ってもらおうというふうな形で検討しております。これまではですね同じような対応してもらいましたが、手動でありましたら、やはり2名から3名で押していましたので、今回電動になりますと1名で対応できるというふうになります。

上田議長

大変ありがたいと思います。一つポイントとしては、電動車椅子の上にありますと、音声ガイドだけじゃなしに、いかにして知っていただくかが大切で、誘導サインは要ると思います。誘導サインというのは電動車椅子がありますので必要な方につきましては御利用くださいということをしてできるだけ分かりやすいものを、作成し設置頂きたい。特に今回、歴史4館については、財政持続的発展計画の中でも、一つの項目に歳入項目で上がっております。それと含めて今回は大書院で、これは議員の一般質問からこのようなものが必要ですかということで、すぐ対応頂いただきましたが、やはり歴史4館ほかユニバーサルツーリズムとの関係、ユニバーサルデザインの関係で、他に使える補助金はないのか調査いただき、議員の一般質問の箇所だけじゃなくて、もう少し幅の広い考えを持って、やっていただき歴史4館共通券等もありますのでそれだけお願いしておきます。

■ 学校教育部

日程第1 議案第91号 令和7年度丹波篠山市一般会計補正予算（第8号）

【主な説明】

学校教育部 説明

【主な質疑】

安井副座長

30ページの1番下、スクールバス管理事業ですが、86万って結構大きな金額が減額なったと感じますが、大きな要因というのはどういふことでしょうか。

学校教育部

大きな部分で3年間の長期継続契約をする更新年度にあったということがあります。来年以降につきましては契約額として固定額を計上します。

安井副座長	<p>32 ページの特別支援学校の庁用備品で校名変更に伴うわけですので、この 70 万 6000 円のうち、例えば校旗は幾らぐらい、結構立派なだから高くなると思っています。この 76 万 6000 円に含まれているわけですか。</p>
<p>学校教育部 安井副座長</p>	<p>校旗が約 66 万円、校章旗が 4 万 5000 円程度で計上しております。</p> <p>31 ページの義務教育振興費のところの学校教育充実事業ですが、教育者謝礼っていうのが 135 万円とかなり大幅な減額になっています。先ほどソフトボールが 8 名でチームとして機能しないので、費用がかからなかったという説明でしたが、もうちょっと、実際どこの学校のどういう状況なのか、もう少し詳しく丁寧に説明をお願いしますか。</p>
学校教育部	<p>まず、現在ソフトボールが地域クラブとして活動する方向で、令和 7 年当初は予定をしておりました。その上で、地域クラブの指導者の謝金、それから公式大会の運営謝金等の予算を確保していたものです。</p> <p>実際に入部等の状況を見たときに、チーム編成が本市だけで難しい状況になりました。そうなったときに、本市の生徒だけでは大会に出られないということが判明しました。そういう意味で地域クラブにいると、その子たちの活躍の場がなくなることから、地域クラブから学校の部活動に一旦、枠組みを戻して、学校部活動として、隣の丹波市の氷上中学校と合同で大会に出るという形にして子どもたちの活躍の場を確保していくこととしました。子どもたちのために一旦学校部活動に戻して、丹波市と合同チームを組んで出場しています。</p> <p>そういう意味で、地域クラブとして練習試合に行ったり、地域クラブの指導者の謝金として確保していた分が、今回このタイミングで、夏以降やっぱり難しいということで、減額をするものです。</p>
安井副座長	<p>よく分かりました。ただ、こういう状況って来年度以降もこれから子どもがますます減ってくると厳しくなりますよね。そうすると、なかなかその地域移行のハードルは今おっしゃったように、対外試合ができない、集団のスポーツの場合はできなくなってくるという非常に難しい状況かなというふうに聞いて思ったんですけど、その辺についての対応というか、見解をお願いします。</p>
学校教育部	<p>このあたりについては、兵庫県下全体に係る課題になっていまして、要するに県の中体連の各種スポーツ競技の細則に則っていろんなスポーツ競技の運営がなされています。現時点では、合同チームを組む場合には、学校部活動の形でないと組みにくいような、そんな状況になっているというふうに、認識しています。ただ、これは競技によって</p>

	<p>は、地域クラブと学校部活動との合同チームも許されている種目もありまして、これは兵庫県全体の中で協議をしていきながら、進めていけないといけないという状況です。丹波篠山市においては、地域クラブも確保しつつ、地域展開も考えながら、実情に応じてその辺りは柔軟に考えていくことで子どもたちの活動機会を確保していかないといけないと考えています。</p>
向井委員	<p>確認ですけどその8人は、それぞれの学校から聞いていたら、元の学校にソフトボールチームがない学校もありますね。そうではなかった。</p>
学校教育部	<p>その8名が全てその下の学校に戻ったときに、学校にソフトボールチームがあれば合同チームはできるけれども、戻られた学校に既にソフトボールチームがなければできないってことを聞きたいです。</p>
安井副座長	<p>今現在、丹南中学校のソフトボール部のメンバーのみでしたので、学校に戻ってないというお子さんは、そこにはなかったです。</p>
安井副座長	<p>35 ページ、西部学校給食センター管理費ですが、東部学校給食センターに比べて電気代が 100 万ぐらい高く補正要求が出ているんですが、給食の規模からしたらそんなに変わらないと思うのに、何で西部は電気代が高くなるのかなというのはちょっと疑問に感じましたので、説明をお願いします。</p>
学校教育部	<p>西部学校給食センターで電気代が高くなりますのは、東部学校給食センターでは調理場内の天井埋め込み型空調設備がないですけれども、西部学校給食センターでは、空調設備が調理場内各所にありますので、設置しているエアコンの数が違いますのでその分電気代が高くなるということになります。</p>
安井副座長	<p>理由は分かりましたけども、ただ、逆に言うと東部学校給食センターは、この数少なくて、働く人の環境という問題では、どうですかね西部と同じぐらいのやっぱりエアコンの数にしなければいけないとか、そういうことについてはいかがでしょうか。</p>
学校教育部	<p>確かに西部と比べまして、東部のほうについては、クーラー関係が少ないですが、今のところはそのほかの設備で対応しています。例えば空調服を着たり、保冷剤を入れたベスト着たり、あとは首に巻くネッククーラー等を使用して、夏の暑い時期、乗り越えていくようにしています。東部のほうについては西部と違まして、地下から上がってくるスポットクーラーがございまして、それが各要所についているだけのため、それをもって作業をしているところもあります。その辺</p>

りが東部と西部の違いと考えます。

■こども未来部

日程第1 議案第91号 令和7年度丹波篠山市一般会計補正予算(第8号)

【主な説明】

こども未来部 説明

【主な質疑】

安井副座長 23ページの児童給付費のところの一時預かり事業費、310万5千円が要らなくなったわけですが、これはどこをやめたから要らなくなったのですか。

こども未来部 予定では、富山こども園で、一時預かりをしていただく予定でしたが、人材不足を理由に、休止状態となっています。

向井委員 20ページの待機児童対策遠距離通所補助金が増額になっているのですが、大体どれぐらいの距離を遠距離で移動どうされるのか。今年度はどこがどういう方やったのかっていう内容をお願いします。

こども未来部 今年度も、6人の方を予定しています。
その中で市内の方であれば、八上地区の方がたきこども園に 西紀地区の方が、城東保育園にという方がいらっしゃいます。また市外におきましては、八上地区の方が、丹波市の方へ、岡野地区の方が、小規模保育ステラという施設に行かれております。片道距離の長い方で30キロ以上に該当する方がいらっしゃいます。

向井委員 分かりました。この補助金活用しながら、待機児童とか保留児童防ぐというか、活用頂けていいなと思っているのですが、昨日も説明ありました。土曜の預かり保育が、遠距離になるというふうな説明を受けたんですけども、これに該当するような10キロ以上遠くへ土曜だけ行かなければならないという方は、今回はいらっしゃらないのですか。

こども未来部 この遠距離通所補助金の、対象者となる項目の一つに10キロ以上、通所距離があるという項目があります。

具体的には、三つの希望園を記入いただき、その三つともに、人員超過等により、入れず遠距離の園に入らざるを得ない方が対象になりますので、第1希望や第2希望の園に入所できる場合は、たとえ距離が遠くても、それは第3希望までの範囲内の希望の園に入れたということで、この遠距離通所補助金には該当しないものになります。

向井委員 ちなみに昨日の説明では、城南幼稚園からたかしろ保育園から2名、にしき保育園、なつぐりっ子はうすから8名でしたが、そのことに関

こども未来部	<p>しては、第3希望以内に入っているという認識でよろしいですか。</p> <p>昨日、全員協議会のほうで御説明をさせていただきました。</p>
野々村委員	<p>土曜日保育の緊急対応の対象になれる方は、大体決まっている方になります。基本的には継続入所の方が多いので、該当しないと認識をしております。</p>
こども未来部	<p>32 ページです。保育教育課にお尋ねしますが、幼稚園費の中で、国庫支出金の返還金、76万2000円が計上されています。これは当初予算に上がらないで、なぜ今の時点で、この返還金が発生したのか、その辺の説明を求めます。</p>
野々村委員	<p>当初につきましては、金額の確定がなされてなかったというところで、予算としましては千円だけ計上していた状況でございます。</p> <p>その中で、この財産処分の申請を国のほうに行っていくに当たって、大体これぐらいの金額になるであろうという金額が示されたのが、10月の終わり頃になりますので、この12月補正で計上いたしました。</p>
こども未来部	<p>返還金については当初予算のときから予定されていて国のほうに申請されたということで、逆に国とかほかの外部から返還金が必要だというような御指摘があったのではなく、内部のほうから分かっている段階で額が確定したからこの金額を予算額に持っていて確定した金額を上げたということですか。外部から何か検査を受けたからこういう指摘があったということではないというように理解したらよろしいでしょうか。</p>
野々村委員	<p>まず、このエアコンを他の施設に移設するに当たって、以前受け取った補助金を返還しないといけないのかどうかというところにつきまして、まず県のほうに問合せをしました。その中で県としては、国に聞かないと分からないというところで国のほうに確認をしますというところの返事待ちでございました。ついては、当初予算時点では、返還になるかどうか分からないというような状況であったので、金額的に上げられなかったというところが実情でございます。</p>
上田議長	<p>返還の可能性もあるので枠の千円は通ったと、非常に能動的な行動で、すばらしい対応だと思います。</p>
上田議長	<p>22 ページと 23 ページの児童福祉施設費、これ保育所保育園関係、23 ページの認定こども園関係、この中で賄い材料費が保育園で増えている。それと、23 ページの各こども園でも補正が無なく、減になっています。学校給食センターも賄い材料費の増減の補正予算もない状況です。ある程度これはお米等のことかなというふうな推測もするんで</p>

すけど、これ具体的な賄い材料費が増えた理由を教えてください。

こども未来部 お米に関する部分につきましては、基本的には、今、各園が発注しているお店の中で、どれぐらい値上がりするのかというお話は各園のほうで、それぞれしていただいております。

その中で、業者さんとしては、今までお世話になっているので急激な負担とならないようにしたいというようなお話がございましたので、今回の補正については米の値上がり部分が直接大きな影響を与えているというものではないというふうに認識をしております。増えた原因につきましては、当初の予算で園児数を見込んでいくわけですが、当初の園児数の見込みは、昨年度の9月10月時点での園児数で見込んでおります。

実際今回精査をするに当たって、4月以降の入園児数というような形になりますので大きな増額になったりする部分があります。

上田議長 そしたらこんだこども園は、園児数が当初見込みより大分少なくなったということですか。

こども未来部 こんだこども園につきましては、令和6年7月に開園で、見込みの人数は、実際の今田保育園の園児数プラス今田幼稚園の園児数の実績で見込んだというところになります。実際に7月開園をしてからの部分と大きな差が出たというところで、減額になっています。

■日程第2 議員協議

議員間で議論・確認等をしておいた方がよいこと等があれば発言をお願いします。

— 部長、市長等への質問等なし —

■意向確認

日程第1 議案第91号 令和7年度丹波篠山市一般会計補正予算（第8号）

—— 修正・反対等の意見なし ——

原田座長 この結果と、本日の執行部との質疑応答及び議員共有を含めた形で、分科会の座長報告を行いたい。報告については座長に一任いただきたい。

—— 異議なし ——

原田座長　　また会議録等については事務局に調整させ正副座長において内容確認を行いたい。

—— 異議なし ——

安井副座長　挨拶

原田座長　　散会宣告

16:15　散会